

皆様への御礼の言葉

この度は、本校にて発生いたしました新型コロナウイルスの大規模な集団感染について、多くの皆様に多大なるご心配・ご迷惑をおかけいたしました。発症者がほとんど出ていない飛騨地方での大規模な集団感染だったため、衝撃の大きさ、影響の大きさに戸惑うばかりでした。何よりも、感染の有無にかかわらず、本校の生徒というだけで差別や誹謗中傷など、好奇の目に大切な生徒諸君をさらしてしまったことに心を痛めました。また、保護者の皆様のお仕事やご兄弟姉妹の皆様の通学など、ご家族の皆様の日常生活にも多大なるご迷惑をおかけいたしましたことに心を痛めました。

学校再開に向けた期間の中で、皆様から多くのお叱りを頂戴いたしました。保護者の皆様や地域の皆様のご心配の大きさ、おかけいたしましたご迷惑の大きさを痛感させられました。しかしながら、多くの方々に支えられた期間でもありました。本校は、飛騨保健所の皆様や地元医師会・校医の皆様の指導やご支援、受け入れ先病院の皆様の努力やご尽力、岐阜県のご指導・ご支援をいただきながら、感染拡大防止と感染者の一日も早い回復のために全力で取り組んで参りました。とりわけ、保健所や受け入れてくださった病院関係者の皆様には、本校生徒のため、本校からの感染拡大を最小限に抑えるため、連日連夜、休日であっても、総出でクラスターの終息に向け寄り添っていただきました。数十名にも及ぶ濃厚接触者への二週間にわたる観察期間には、保健所の皆様に一人一人に対して毎日の心身の健康観察を行っていただきました。医療従事者の皆様には、私どもが考えている以上に緊張感を伴う過酷な現場で、日々感染への恐怖や不安を抱えながらも、自らの感染リスクを顧みず、治療や処置に対応していただきました。保健所の皆様、医療従事者の皆様を始めとする多くの皆様のご尽力のお陰で、学校再開の日を迎えることができていると言ってしまう過言ではありません。また、地元や県内各地から寄せられた激励やお見舞い、あるいは支援物資など、たくさんの心温まるお気持ちに教職員・生徒一同どれほど救われ、魂が奮えたことか筆舌に尽くし難いものがございます。今後は、「隙の無いところにクラスターは発生しない」というご指摘を肝に銘じ、本校一丸となって、感染拡大防止に向け最善を尽くしていかなばならないと、思いを新たにしております。

お陰様で2月1日より学校は再開し、感染した生徒につきましても、全員退院することができました。また、濃厚接触者であった生徒につきましても、定められた2週間の健康観察を終え、日常生活に戻ることができました。これからは教職員一同、感染防止対策や衛生管理を徹底してまいります。また、皆様から頂戴いたしましたご支援への感謝を忘れることなく、弱い立場の人に寄り添う心を持った、世のため人のために役立つ人材育成に一層の精進を積んでまいりたいと存じます。今後とも、本校の教育活動を、生徒たちの学校生活や部活動などを、温かく見守っていただければ幸いです。

最後になりましたが、改めましてご心配・ご迷惑をおかけいたしました皆様へ心からのお詫びと、ご支援賜りました皆様へ心からの感謝を申し上げ、結びとさせていただきます。